


# Well-Being指標活用ファシリテーター プロフィール

登録番号： WB06010

ふりがな	つちや としひろ		
氏名	土屋 俊博		
所属企業・団体名	特定非営利活動法人中小企業・地域創生ネットワーク		
役職	理事		
略歴	<p>電機メーカーに入社後、新規事業部門で消費者向け新事業検討。のち、経営企画部門でコーポレート機能変革・グローバルのSI・ソフトウェアリソース戦略・グループ経営・カルチャー変革・共創活動に従事。 2018年よりスマートシティ関連事業の企画部門に所属。 2019年から内閣府科学技術・イノベーション推進事務局でスマートシティ関連政策を担当。 2022年5月に一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアムの設立に携わる。 神戸市スマートシティアドバイザー / 草津市スマートシティ社会実装アドバイザー Code for Nagareyama / Civic Tech Zen Chiba において千葉県のシビックテック活動に参画。 組織内中小企業診断士協会 理事長 / 非営利活動法人中小企業・地域創生ネットワーク理事</p>		
保有資格	WBPD OASIS Practitioner		
	上記以外	経済産業大臣認定 中小企業診断士 SCI-Jフェロー（第1期） 神戸市スマートシティアドバイザー 草津市スマートシティ社会実装アドバイザー	
活動拠点（※）	福島県	（※）交通費算出上の出発地（都道府県単位）	
主な活動エリア	次ページ参照		
自治体向けメッセージ	<p>グローバル化やベンチャー・スタートアップの振興、AI技術の普及展開等により、新しい技術の開発や多様なサービス・製品の創出が加速度的に進む世の中。ちょっとした技術やサービスが、わたしたちのまちや暮らしががらっと変わってしまうということが今後も予想されます。</p> <p>そんな中で、これまでの自治体や地域の組織のあり方も少なからず影響を受けることは避けられません。これから生まれる子どもたちもデジタルネイティブ・AIネイティブとして、様々なデジタル技術に囲まれて育つ中で、大人たちが辿った生き方とは異なる世界を見ながら生活しています。そんな世界の子どもたちが「このまちに住みたい」「このまちで面白いことがしたい」と思えるような、well-beingなまちづくりを、全国の自治体のみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。</p>		
その他ワークショップ実施実績（最大5つまで）	主催者	実施年月／参加者／ワークショップの内容	
	静岡県南伊豆町	2018年10月／南伊豆町内商工事業者／南伊豆町産業振興計画の具体化に向けた地域資源の活用と地域課題発掘ワーク	
	伊豆地域商工会連合会	2018年12月／伊豆地域の商工会に所属する若手経営者／	
	KOBEスマートシティ推進コンソーシアム（神戸中小企業庁（受託団体：大塚商会）	2023年6-10月／KOBEスマートシティ推進コンソーシアム会員企業／神戸市内のNPO・地域団体が抱える課題を知り解決策を考える「フィールドリサーチ」 2022年4月・2023年5月・2024年5月／中小企業診断士有資格者／理論政策更新研修においてwell-beingなまちづくりを考えるワーク	
	福井県大野市	2025年2月／大野市役所職員約20名／総合計画後期基本計画検討に向けたWell-being指標活用ワークショップ	

地域区分	可能エリア	都道府県名	※地域区分内の一部の都道府県のみ対応可能な場合の対応可能な都道府県名
全国	○	47都道府県どこでも	
北海道		北海道	
東北		青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島	
南関東		埼玉, 千葉, 東京, 神奈川	
北関東・甲信		茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野	
北陸		新潟, 富山, 石川, 福井	
東海		岐阜, 静岡, 愛知, 三重	
近畿		滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山	
中国		鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口	
四国		徳島, 香川, 愛媛, 高知	
九州		福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄	